

2016年06月30日

<< 2024年06月 >>

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

最近の記事

(06/25)[割礼はエイズ（HIV）のリスクの軽減](#)
(06/24)[乳幼児の呼吸器感染症のウイルス排出は長引く](#)
(06/22)[医療ネットより](#)
(06/21)[下肢末梢動脈疾患ガイドライン（PAD）・2024](#)
(06/21)[下肢末梢動脈疾患](#)

最近のコメント

[鉄欠乏性貧血における鉄剤の服用](#)
by (09/13)
[23価肺炎球菌ワクチンの局所反応](#)
by (07/11)
[急性心不全のラシックスの効果減弱](#) by (06/10)
[小児の腸重積・ロタウイルスワクチンとの関係について](#) by (05/02)
[Ⅱ型糖尿病患者にスルホニル尿素薬の有効性について](#) by (04/19)

タグクラウド

カテゴリ

[小児科](#)(261)
[循環器](#)(300)
[消化器・P P I](#)(180)
[感染症・衛生](#)(325)
[糖尿病](#)(150)
[喘息・呼吸器・アレルギー](#)(120)
[インフルエンザ](#)(113)
[肝臓・肝炎](#)(66)
[薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導](#)(56)
[脳・神経・精神・睡眠障害](#)(66)
[整形外科・痛風・高尿酸血症](#)(42)
[ワクチン](#)(97)
[癌関係](#)(14)
[脂質異常](#)(31)
[甲状腺・内分泌](#)(22)
[婦人科](#)(15)
[泌尿器・腎臓・前立腺](#)(55)
[熱中症](#)(7)

夏風邪のエンテロウイルスが流行

夏風邪のエンテロウイルスが流行



手足口病やヘルパンギーナに代表されるエンテロウイルスが流行り始めています。ネットのMedleyにも記事が載っています。念のため下記にPDFを追加いたします。

<https://medley.life/%E6%89%8B%E8%B6%B3%E5%8F%A3%E7%97%85>

ちょうど、小児科という総合雑誌にも特集が組まれていますので、まとめてみました。その前に、多少エンテロウイルスについて勉強をし直しました。エンテロウイルスには下記の種類があります。

ウイルス	血清型
ポリオウイルス	1,2,3
コクサッキーA群ウイルス(CA)	A1-A22,A24
コクサッキーB群ウイルス(CB)	B1-B6
エコーウイルス(Echo)	1-7,9,11-21,24-27,29-33
他のエンテロウイルス	68-71

もう一つの分類もあります。

表1. ヒトのエンテロウイルス属の分類

種	血清型
ポリオウイルス	ポリオウイルス1-3
エンテロウイルスA	コクサッキーウイルスA 2,3,5,7,8,10,12,14,16, エンテロウイルス71
エンテロウイルスB	コクサッキーウイルスA 9, コクサッキーウイルスB 1-6, エコーウイルス 1-7,9,11-21,24-27,29-33, エンテロウイルス69
エンテロウイルスC	コクサッキーウイルスA 1,11,13,15,17-22,24
エンテロウイルスD	エンテロウイルス68,70
上記の種に分類されず	コクサッキーウイルスA 4,6

例えば、エンテロD群の68ならD68と記載します。一般的にはこの中で、ポリオウイルス以外が夏風邪ウイルスとして扱われます。

特徴は、

- 1) 一つの病気でも色々な種類のウイルスが原因となり得る。
- 2) 逆に一つのウイルスでも、違った種類の病気を引き起こす。

2024年06月(13)
2024年05月(14)
2024年04月(12)
2024年03月(14)
2024年02月(13)
2024年01月(19)
2023年12月(17)
2023年11月(13)
2023年10月(15)
2023年09月(12)
2023年08月(16)
2023年07月(15)
2023年06月(14)
2023年05月(15)
2023年04月(15)
2023年03月(15)
2023年02月(14)
2023年01月(15)
2022年12月(12)
2022年11月(16)
2022年10月(15)
2022年09月(13)
2022年08月(17)
2022年07月(13)
2022年06月(15)
2022年05月(15)
2022年04月(14)
2022年03月(15)
2022年02月(14)
2022年01月(16)
2021年12月(14)
2021年11月(17)
2021年10月(17)
2021年09月(13)
2021年08月(16)
2021年07月(12)
2021年06月(16)
2021年05月(16)
2021年04月(14)
2021年03月(18)
2021年02月(19)
2021年01月(16)
2020年12月(17)
2020年11月(15)
2020年10月(17)
2020年09月(19)
2020年08月(14)
2020年07月(17)
2020年06月(14)
2020年05月(21)

以降はカテゴリーで検索してください。

[PDF Site Summary](#)
[RSS 2.0](#)

5) ウイルスが異なれば、2回以上の疾患をリンジーズンに罹ってしまう。
例：ヘルパンギーナをひと夏、二回罹ってしまう事もある。

エンテロウイルスで起る主な病気は

エンテロウイルスによって起こる症候群		
症候群	最もよく関係する血清型	備考
無症候性感染	コササキウイルスA1、A2、A7、A9など およびコササキウイルスA10、A11、およびコササキウイルスA12、A13、A14、A15、A16、A17、A18、A19、A20、A21、A22、A23、A24、A25、A26、A27、A28、A29、A30、A31、A32、A33、A34、A35、A36、A37、A38、A39、A40、A41、A42、A43、A44、A45、A46、A47、A48、A49、A50、A51、A52、A53、A54、A55、A56、A57、A58、A59、A60、A61、A62、A63、A64、A65、A66、A67、A68、A69、A70、A71、A72、A73、A74、A75、A76、A77、A78、A79、A80、A81、A82、A83、A84、A85、A86、A87、A88、A89、A90、A91、A92、A93、A94、A95、A96、A97、A98、A99、A100	乳児および小児に最も一般的；経口は通常感染；感染または感染を伴う可能性あり；ウイルスの感染、発症、または無症候性感染はしばしば同定される
結膜炎（出血性）	エンテロウイルス70（一部の無症候性感染） コササキウイルスA10、A11、A12、A13、A14、A15、A16、A17、A18、A19、A20、A21、A22、A23、A24、A25、A26、A27、A28、A29、A30、A31、A32、A33、A34、A35、A36、A37、A38、A39、A40、A41、A42、A43、A44、A45、A46、A47、A48、A49、A50、A51、A52、A53、A54、A55、A56、A57、A58、A59、A60、A61、A62、A63、A64、A65、A66、A67、A68、A69、A70、A71、A72、A73、A74、A75、A76、A77、A78、A79、A80、A81、A82、A83、A84、A85、A86、A87、A88、A89、A90、A91、A92、A93、A94、A95、A96、A97、A98、A99、A100	結膜下出血および角膜炎を生じる可能性あり；家庭での流行はまれ；1-2週間以内に通常は回復
流行性筋痛症（ボーンマール熱）	コササキウイルスA10、A11、A12、A13、A14、A15、A16、A17、A18、A19、A20、A21、A22、A23、A24、A25、A26、A27、A28、A29、A30、A31、A32、A33、A34、A35、A36、A37、A38、A39、A40、A41、A42、A43、A44、A45、A46、A47、A48、A49、A50、A51、A52、A53、A54、A55、A56、A57、A58、A59、A60、A61、A62、A63、A64、A65、A66、A67、A68、A69、A70、A71、A72、A73、A74、A75、A76、A77、A78、A79、A80、A81、A82、A83、A84、A85、A86、A87、A88、A89、A90、A91、A92、A93、A94、A95、A96、A97、A98、A99、A100	どの年齢でも起こりうる；熱および上肢痛
手足口病	コササキウイルスA10、A11、A12、A13、A14、A15、A16、A17、A18、A19、A20、A21、A22、A23、A24、A25、A26、A27、A28、A29、A30、A31、A32、A33、A34、A35、A36、A37、A38、A39、A40、A41、A42、A43、A44、A45、A46、A47、A48、A49、A50、A51、A52、A53、A54、A55、A56、A57、A58、A59、A60、A61、A62、A63、A64、A65、A66、A67、A68、A69、A70、A71、A72、A73、A74、A75、A76、A77、A78、A79、A80、A81、A82、A83、A84、A85、A86、A87、A88、A89、A90、A91、A92、A93、A94、A95、A96、A97、A98、A99、A100	幼児に最も一般的；小児慢性感染は通常、無症候性で感染
ヘルパンギーナ	コササキウイルスA1、A2、A7、A9など およびコササキウイルスA10、A11、A12、A13、A14、A15、A16、A17、A18、A19、A20、A21、A22、A23、A24、A25、A26、A27、A28、A29、A30、A31、A32、A33、A34、A35、A36、A37、A38、A39、A40、A41、A42、A43、A44、A45、A46、A47、A48、A49、A50、A51、A52、A53、A54、A55、A56、A57、A58、A59、A60、A61、A62、A63、A64、A65、A66、A67、A68、A69、A70、A71、A72、A73、A74、A75、A76、A77、A78、A79、A80、A81、A82、A83、A84、A85、A86、A87、A88、A89、A90、A91、A92、A93、A94、A95、A96、A97、A98、A99、A100	乳児および小児に最も一般的；特徴的な口蓋および咽頭の病変
心筋心膜炎	コササキウイルスA1、A2、A7、A9など およびコササキウイルスA10、A11、A12、A13、A14、A15、A16、A17、A18、A19、A20、A21、A22、A23、A24、A25、A26、A27、A28、A29、A30、A31、A32、A33、A34、A35、A36、A37、A38、A39、A40、A41、A42、A43、A44、A45、A46、A47、A48、A49、A50、A51、A52、A53、A54、A55、A56、A57、A58、A59、A60、A61、A62、A63、A64、A65、A66、A67、A68、A69、A70、A71、A72、A73、A74、A75、A76、A77、A78、A79、A80、A81、A82、A83、A84、A85、A86、A87、A88、A89、A90、A91、A92、A93、A94、A95、A96、A97、A98、A99、A100	どの年齢でも起こりうる；発症時の感染（急性心膜炎）では熱および心不全を伴うことが多く、死に至ることもあり；他の症候ではしばしば同定される；診断には心筋組織のウイルス感染を確認することがある
脳炎	ポリオウイルス1、2、3；コササキウイルスA1、A2、A7、A9など およびコササキウイルスA10、A11、A12、A13、A14、A15、A16、A17、A18、A19、A20、A21、A22、A23、A24、A25、A26、A27、A28、A29、A30、A31、A32、A33、A34、A35、A36、A37、A38、A39、A40、A41、A42、A43、A44、A45、A46、A47、A48、A49、A50、A51、A52、A53、A54、A55、A56、A57、A58、A59、A60、A61、A62、A63、A64、A65、A66、A67、A68、A69、A70、A71、A72、A73、A74、A75、A76、A77、A78、A79、A80、A81、A82、A83、A84、A85、A86、A87、A88、A89、A90、A91、A92、A93、A94、A95、A96、A97、A98、A99、A100	無症候性感染を伴う一過性の軽い脳炎は、その中でも起こりうる；発症時の感染の方が通常は一般により重症である；ポリオウイルスを伴う場合は重症の脳炎が疑われる
脳脊髄膜炎	コササキウイルスA1、A2、A7、A9など およびコササキウイルスA10、A11、A12、A13、A14、A15、A16、A17、A18、A19、A20、A21、A22、A23、A24、A25、A26、A27、A28、A29、A30、A31、A32、A33、A34、A35、A36、A37、A38、A39、A40、A41、A42、A43、A44、A45、A46、A47、A48、A49、A50、A51、A52、A53、A54、A55、A56、A57、A58、A59、A60、A61、A62、A63、A64、A65、A66、A67、A68、A69、A70、A71、A72、A73、A74、A75、A76、A77、A78、A79、A80、A81、A82、A83、A84、A85、A86、A87、A88、A89、A90、A91、A92、A93、A94、A95、A96、A97、A98、A99、A100	脳脊髄膜炎は一般的；発症は通常、発熱が先で、頭痛、嘔吐、咽痛、筋痛、神経痛、結膜炎、口蓋炎、点状出血、小児慢性；経過は通常良好
呼吸器感染	コササキウイルスA1、A2、A7、A9など およびコササキウイルスA10、A11、A12、A13、A14、A15、A16、A17、A18、A19、A20、A21、A22、A23、A24、A25、A26、A27、A28、A29、A30、A31、A32、A33、A34、A35、A36、A37、A38、A39、A40、A41、A42、A43、A44、A45、A46、A47、A48、A49、A50、A51、A52、A53、A54、A55、A56、A57、A58、A59、A60、A61、A62、A63、A64、A65、A66、A67、A68、A69、A70、A71、A72、A73、A74、A75、A76、A77、A78、A79、A80、A81、A82、A83、A84、A85、A86、A87、A88、A89、A90、A91、A92、A93、A94、A95、A96、A97、A98、A99、A100	喉頭炎、扁桃炎、気管炎、肺炎、および肺炎が最も一般的；経過は通常良好で、小児では発熱が疑われる

一般的に夏風邪は髄膜炎、冬は肺炎が心配だと言われていますが、
今回の小児科雑誌の特集では、下記の稀ながら重症化するエンテロウイルス感染症を挙げています。

- 1) 心筋炎（劇症型を含む）
頻脈や除脈に注意して、簡便な心エコーを利用する事も一つの方法かと思います。

表4 劇症型・急性心筋炎の初期症状				
	劇症型 (%) (n=169)	急性型 (%) (n=64)	合計 (%) (n=89)	p 値
非特異的症候				
発熱	28 (43.8)	53 (59.6)	81 (47.9)	NS
嘔気/嘔吐	29 (45.3)	22 (24.7)	51 (30.2)	0.01
咳嗽	11 (17.2)	17 (19.1)	28 (16.6)	NS
腹痛	12 (18.8)	14 (15.7)	26 (15.4)	NS
下痢	6 (9.4)	7 (7.9)	13 (7.7)	NS
心症状				
心不全	34 (53.1)	27 (30.3)	61 (36.1)	NS
心拡大	21 (32.8)	28 (31.5)	49 (29.0)	NS
呼吸困難	21 (32.8)	22 (24.7)	43 (25.4)	NS
心原性ショック	18 (28.1)	4 (4.5)	22 (13.0)	0.001

NS：有意差なし
(Saji T et al, 2012³⁾より引用)

- 2) 心膜炎
これも簡便な心エコーを利用するのも良いかと思います。
- 3) 流行性筋痛症
肺炎、心筋梗塞等との鑑別が必要になりそうです。
- 4) 妊婦や新生児には特別に注意が必要
- 5) エンテロウイルスD68が昨年に流行
1962年に、米国でエンテロウイルスD68の呼吸器感染症が報告され、2014年に米国で大流行し、
日本でも2015年秋に大流行がみられた。幼児から学童で、喘息様の呼吸器症状をきたすのが特徴
である。また呼吸器感染から1週間前後で、弛緩性麻痺をきたす症例が報告され、エンテロウイルスD68の関連が疑われている。
※下記の表を参照ください。
- 6) boston exanthem(顔四肢発疹症)
これもエンテロウイルスが原因であるが、突発性発疹との鑑別が必要になる。
突発の方が高熱で1歳未満が多いが、bostonはやや発熱の程度と期間は軽い。また小学低学年
にもあり年齢の幅がある。
皮膚症状は、突発は胸腹部から始まるが、bostonは逆に、顔四肢から始まり胸腹部にいた

表 1 エンテロウイルス D68 の入院症例の症状

症状	614 例中の頻度 (%)
呼吸苦	84
咳嗽	81
喘鳴	70
多呼吸	46
発熱	46
陥没呼吸	43
鼻汁	38
嘔吐	22
咽頭痛	13
増悪	9
下痢	4
チアノーゼ	3

(Midgley CM et al, 2015²⁾より引用改変)

47

表 3 神経麻痺の症状

症状	12 例中の頻度 (%)
髄膜刺激症状(項部硬直または蓋明)	10 (83)
四肢麻痺	10 (83)
腱反射低下	7 (67)
球麻痺	6 (50)
外転神経麻痺	3 (25)
顔面神経麻痺	2 (17)

(Messacar K et al, 2015¹⁰⁾より引用改変)

Uptodateより手足口病の特異的な皮膚症例を掲載します。



私見)

エンテロウイルスは、殆どが乳幼児で軽症です。
しかし中には大人も罹患して、重症化する場合があります。
その事を医療従事者も保護者も、認識しておくことが大事だと思います。

[手足口病にこんな人がかかったら？ - 手足口病ガイド MEDLEY\(メドレー\).pdf](#)

[手足口病に似ているヘルパンギーナってどんな病気？ - 手足口病ガイド MEDLEY\(メドレー\).pdf](#)

[手足口病の症状ってどんなものがあるの？ - 手足口病ガイド MEDLEY\(メドレー\).pdf](#)

[手足口病の頻度は地方ごとの気候によって違う - MEDLEYニュース.pdf](#)

【小児科の最新記事】

[乳幼児の呼吸器感染症のウイルス排出は長引..](#)
[下肢末梢動脈疾患](#)
[糖尿病治療薬のSGLT-2とGLP-1の..](#)
[高血圧・雑誌medical practi..](#)
[妊娠中のアセトアミノフェン服用はやはり注..](#)

posted by 斎賀一 at 13:56 | [Comment\(0\)](#) | [小児科](#)

この記事へのコメント

